

平成27年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(AO入試)

小 論 文

(地域学部 地域環境学科)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

資料1（英文）と資料2・3（和文）を読んで、問1・2に答えなさい。

問1 資料1を読んで、木戸作貝塚の調査からどのようなことが判明したかについて、300字以内にまとめなさい。

問2 資料1～3を読んで、「持続可能な生物資源利用」はどうあるべきかについて、800字以内で論じなさい。

資料1

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：Colin Renfrew and Paul Bahn: Archaeology: Theories, Methods and Practice, Thames & Hudson Ltd; 2008年 より一部改変

資料2

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：辻野亮「生物資源の持続と破綻を分かつもの—未来可能性に向けて」（『シリーズ日本列島の三万五千年—人と自然の環境史 第1巻 環境史とは何か』文一総合出版、2011年）

資料 3

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

